

＼新 VR シアタープログラムを NPO と共同開発／
**トークイベント「社会課題の自分事化で“いのち輝く未来社会”をデザインする
～共感 VR シアターでの世界の暮らし体感～」開催**
【5/15(木)18:30～@中之島センター 5F いのち共感ひろば】

❖ 概 要

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)は、5月15日(木)に大阪大学中之島センター5階「いのち共感ひろば」にて、トークイベント「社会課題の自分事化で“いのち輝く未来社会”をデザインする ～共感 VR シアターでの世界の暮らし体感～」を開催いたします。このイベントは、「世界の暮らしを体感できる共感 VR シアタープログラム」の完成と、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博の開幕を記念して開催します。

「世界の暮らしを体感できる共感 VR シアタープログラム」は、NPO 法人クロスフィールズ(東京都品川区、代表:小沼大地、以下「クロスフィールズ」)および「いのち会議」と共同で、大阪大学 SSI の活動拠点「いのち共感ひろば」内の VR シアター向けに開発しました。大阪大学 SSI のビジョンである「命を大切に、一人一人が輝く社会」の実現に向け、テクノロジーを活用して社会課題を自分ごととして捉える機会を来場者に提供することを目的としています。

このプログラムは、カンボジア、タンザニア、インドの都市部や農村部での生活を、360 度の臨場感あふれる映像で体感できる内容となっており、まるでその地を訪れているかのような没入体験が可能です。また、本プログラムの制作には大阪大学の学生も参加しており、各国や地域の紹介や気づきを促す問いかけは、学生たちの声によって、日本語と英語で行われます。

トークイベント当日は、SSI 長である堂目卓生特任教授(常勤)と、クロスフィールズ代表理事の小沼氏が登壇し、「社会課題を自分事化するとは何か」をテーマに議論を深めます。トークセッション終了後には、来場者が実際に共感 VR プログラムを体験できる時間も設けております。

つきましては、本イベント当日のご取材・出席をお願い致します。



共感 VR シアタープログラムの様子

❖ イベント概要

社会課題の自分事化で“いのち輝く未来社会”をデザインする

～共感 VR シアターでの世界の暮らし体感～

【日時】 5月15日(木) 18:30-20:00 (20:00-20:30 で共感 VR シアター体験会を実施)

【場所】 大阪大学中之島センター5 階 いのち共感ひろば

【登壇者】

堂目 卓生 (大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長/「いのち会議」事業実行委員長)

小沼 大地 (NPO 法人クロスフィールズ代表理事)

【内容】

18:30-20:00 トークイベント

- ・オープニング:10 分
- ・講演:大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長 堂目卓生:20 分
- ・講演:NPO 法人クロスフィールズ代表理事 小沼大地:30 分
- ・感想共有・Q&A:30 分

20:00-20:30 共感 VR シアター体験会

【定員】 50 名程度

【参加費】 無料

【参加申込】 <https://forms.gle/ahwwH16FHboBnvm7>

※右の QR コードからもお申込みいただけます。

※本イベントへの取材ではなく、参加をご希望の方は、こちらからお申し込みをお願いします。



❖ 会場へのアクセス

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53 大阪大学中之島センター5 階

・大阪駅前バスターミナルから大阪シティバス 53 番の中之島四丁目バス停より徒歩 1 分

・大阪駅前バスターミナルから大阪シティバス 75 番の田蓑橋バス停より徒歩 2 分

・京阪中之島線 中之島駅より徒歩約 5 分

・阪神本線 福島駅より徒歩約 9 分

・JR 東西線 新福島駅より徒歩約 9 分

・大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約 10 分

・JR 環状線 福島駅より徒歩約 12 分

・大阪メトロ御堂筋線 淀屋橋駅より徒歩約 16 分

※詳しくは中之島センターHP をご覧ください。

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>



❖ 取材申込について

※ご取材本イベントについて、ご取材いただける際は、会場設営の関係上、5月14日(水)17時までに以下の Web 登録フォームから申請をお願いします。



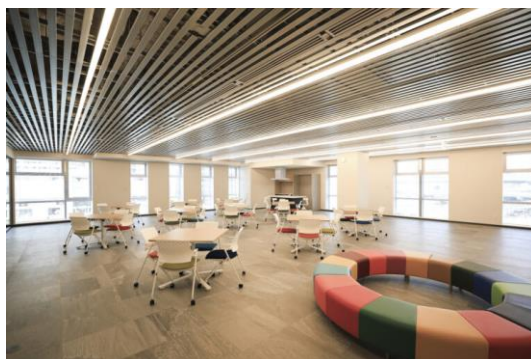
<https://forms.office.com/r/PYCitYDLJa>

❖ いのち共感ひろば について

2023 年にリニューアルオープンした中之島センターの5階の「いのち共感ひろば」では、SDGs(持続可能な開発目標)の達成や、万博テーマにある「いのち輝く未来社会」の実現、そして大阪大学 SSI の「命を大切に、一人一人が輝く社会」の実現を目的として、各種の取組やイベントを行っています。

「いのち共感ひろば」には、これらの目的達成のために必要不可欠と考えられる「あらゆるいのちへの共感」をコンセプトとして、「感じる場」という空間をつくりました。「感じる場」では、360度の動画を正面・側面・床面に映写し、多くの人々が同時に映像に没入できる VR シアターを設置し、実際に訪れることが容易ではない、さまざまな場所を、大阪中之島に居ながらにして感じることができます。幅広い年齢層が、さまざまな国や地域、場所を体感できます。

大阪大学 SSI 長である堂目卓生総長補佐(万博・SDGs 担当)は、アダム・スミスの研究者です。ひろばは、アダム・スミスが著書『道徳感情論』で描いた人間の「共感」能力を現代の技術で拡張し、人間のコミュニケーションをさらに広げ、豊かにするための空間としてデザインしたのもでもあります。



いのちの輝きと SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、社会とアカデミアが共創する拠点です。

この空間は「いのち会議」と大阪大学 SSI の活動拠点でもあり、社会の人々とともに課題に向き合い、願う未来を構想する場として設けられました。年齢や性別、国、文化の枠を越えて、さまざまないのちと共感するための場となっています。

(ウェブサイト:<https://inochi-forum.org/action-report/general-event/about-inochi-plaza/>)

❖ **NPO法人クロスフィールズ について**

クロスフィールズは「社会課題が解決され続ける世界」をビジョンに、社会課題の現場とビジネスパーソンを繋ぐ越境学習プログラムを提供する NPO 法人です。社会課題の現場に企業の社員を一定期間派遣し、現地の NPO や社会的企業とともに課題解決に取り組む「留職」プログラムのほか、国内外の社会課題の現場を体感する役職者向け「社会課題体感フィールドスタディ」、VR/360 度映像を活用し社会課題を自分ごととして捉える人を育む「共感 VR プログラム」などの様々な事業を展開しています。

(ウェブサイト:<https://crossfields.jp/>)

❖ **大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI) について**

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)は、大阪大学の人文学・社会科学系の研究者が中心となり、理工情報系や医歯薬生命系など自然科学系の研究者、そしてパブリックセクターや民間企業など、多様なステークホルダーと連携し、社会課題の解決と持続可能な共生社会の実現を目指すシンクタンクとして、2018 年に設立されました。2050 年の「命を大切にし、一人一人が輝く社会」を目指して、社会課題解決に向けて取り組んでいます。

(ウェブサイト:<https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/>)

❖ **「いのち会議」について**

「いのち会議」事業推進協議会(略称「いのち会議」)とは、一人ひとりが地球の上で生かされている「いのち」であるという意識に立ってつながり、声を上げ、聞きあい、考え、話し、ひとつの声にしてグローバルなムーブメントにつなげていく場です。「いのち」とは何か、「輝く」とはどういうことか、「誰一人取り残さない」ために何をなすべきかを、あらゆる境を越えて考え、話し合い、それぞれが行動に移していきます。グローバルな規模での産官学民による共創によって、2025 年大阪・関西万博において「いのち宣言」を発信します。2025 年以降も「いのち会議」を万博のレガシーとして継続し、SDGs を推進し、SDGs の次のゴールを構想していきます。

(ウェブサイト:<https://inochi-forum.org/>)